

道路やビルも移転

面日一新へ//本年度復興計画//

着々復興途にある鹿児島市の本年度都市計画事業のりんかくを覗いてみると、事業費は一億円台で建物の移転工事費の方にふりかけられるのが五年六百円で道路より建物の移転が七百五十九戸、建物による移転が七百七戸での電柱の移転が七百七十本となつてある。移転の事例をみると、易居町付近の無断建築の警護、それに朝日通りの興徳ビル（現在鉄道器材事務所）の移転で、イソロから鹿駅前までの道路が一應整備され、今年はこの石造高層十戸の強行移転で現在の混雑もなくなるものと期待されている。嘆かうかどうかで問題になつて居る高層ビルは道路に出ている一階の部分をくりぬいて人道を通す予定である。

その他新市街市場付近の移転、伊敷車庫の国道へのかけ換え敷設工事も、今年は本年内に整備される計画になつてある。

（現在鉄道器材事務所）の移転で、イソロから鹿駅前までの道路が一應整備され、今年はこの石造高層十戸の強行移転で現在の混雑もなくなるものと期待されている。嘆かうかどうかで問題になつて居る高層ビルは道路に出ている一階の部分をくりぬいて人道を通す予定である。

（現在鉄道器材事務所）の移転で、イソロから鹿駅前までの道路が一應整備され、今年はこの石造高層十戸の強行移転で現在の混雑もなくなるものと期待されている。嘆かうかどうかで問題になつて居る高層ビルは道路に出ている一階の部分をくりぬいて人道を通す予定である。

（現）（現）（現）

（現）（現）（現）